

# 平成16年度当初予算案主要事項説明

学校教育課・高校教育課・社会教育課

事業名	心のサポート推進事業費			
予算計上額	203,614千円	新規・継続事業の別	新規 拡充 継続	
事業内容  (目的 対象 方法等)	1 目的 いじめ、不登校等の問題行動や少年による凶悪犯罪の発生などが大きな社会問題となっている昨今、学校及び家庭における児童生徒や保護者の心の相談に対応する総合的なサポート体制(相談体制)を充実させ、問題行動等の未然防止や早期解決を図る。			
	2 事業概要			
	学校における 相談活動支援	スクールカウンセラーの配置	児童生徒 保護者 教職員	臨床心理士等によるカウンセリング 教職員・保護者への助言・援助 中学校 64校、高等学校 12校 144,400
		心のふれあい相談員等配置事業	児童 保護者 教職員	児童が身近に感じる若い世代等を小学校に配置し、悩み相談、話し相手、地域の情報収集、地域と学校の連携、学校の教育活動支援 小学校 35校(京都市立含む) 17,000
	学校外における教育支援	トータルアドバイスセンター教育相談事業	児童生徒 保護者 教職員等	精神科医、臨床心理専門家などの教育相談 電話・来所・巡回による教育相談 家庭教育カウンセラーの巡回相談 教育相談セミナー、教育相談実技講座等 スーパーバイザーの委嘱 14,214
		スクール・サポートネットワーク整備事業	児童生徒 保護者	不登校児童生徒の早期発見、早期対応などきめ細かな支援を行うため、不登校対策に関する中核的機能(スクール・サポートセンター)を充実 17,300
		生徒指導総合連携推進事業	学校 保護者 地域住民等	家庭・学校・地域社会等が一体となって、各地域が抱える生徒指導上の諸問題に係る調査研究及びその成果を踏まえた実践的な取組 1,000
		サポートチーム等地域支援システムづくり推進事業	学校 教育委員会等	学校・教育委員会・関係機関からなるサポートチームの組織化など、地域における支援システムづくりの研究 4,200
		ふれあい宿泊学習	児童生徒 保護者	南山城・るり渓少年自然の家を活用した、不登校傾向にある児童生徒に対する宿泊体験活動等の実施 3,000
	ネットワーク機能の充実	不登校に関するネットワーク推進事業【新規】	教職員 民間施設	不登校児童生徒の学校復帰を支援するとともに、民間施設等に通所する児童生徒の登校認定に向け、ネットワーク会議を設置 1,000
教育相談ネットワーク事業		各相談員 適応指導教室関係者	教育支援センター、心のふれあい相談員等の各連絡協議会を開催し、市町村等との連携、成果波及を図る 1,500	
計			203,614	
担当課・係名	学校教育課 指導第2係 高校教育課 指導第1係 社会教育課 振興係	課・係 電話番号	075-414-5840 075-414-5851 075-414-5883	